
日本ロシア文学会会報 第47号 2018年2月

1. 会長挨拶 2. 2017年度第67回総会報告 3. 10月・12月理事会関連事項 4. 会員異動 5. 新役員・委員 6. その他 7. 事務局からのアナウンス
-

1. 会長挨拶

2018年を迎えてはや1ヶ月がすぎ、例年になく寒い日々が続きますが、会員のみなさんそれぞれに、研究や仕事に忙しくされていることと存じます。みなさんの活動のようすは、毎日のように更新される学会ホームページの情報にも表れており、学会員の研究の多様化がますます進んでいるのがわかります。

昨年10月の全国大会以後に立ち上がった新執行部・理事会も、あらたな活動を開始しています。その一つが、学会ホームページで募集中の「若手ワークショップ企画支援プロジェクト」です。これは若手会員が中心になって、新しい視点や発想でロシア文化・文学・言語の研究の幅を広げていただこうというものです。「若手」と銘打ったからといって、もちろん中堅ベテランを排除するものではありません。世代や専門の枠を超えた研究者ネットワークを作る機会になればなによりでしょう。募集要項をご参照のうえ、ふるってご応募ください。

さて、学会のさまざまな活動は、みなさんの通常会費によって運営されています。上記の若手ワークショップの財源は、大会参加の旅費補助などと同じく、有志の方にいただいている維持会費です。学会活動の趣旨と意義をご理解のうえ、通常会費はもちろんのこと、維持会費へのご支援もみなさまよろしく願いいたします。

日本ロシア文学会長 三谷恵子

2. 2017年度第67回総会報告

第67回定例総会・研究発表会は、2017年10月14日（土）、15日（日）の両日、上智大学で開催されました。10月14日（土）午後開催された定例総会の主な内容は以下の通りです。

(1)開会の辞

望月哲男会長が開会の辞を述べた。

(2)日本ロシア文学会賞表彰

大石雅彦学会賞選考委員長から選考過程ならびに結果が報告され、望月会長から高橋知之・伊藤愉氏（ともに論文部門）に表彰状と副賞が手渡された。

(3)議長団選出

関東支部より安達大輔氏、中部支部より平松潤奈氏、関西支部よりヨコタ村上孝之氏が選出され、承認された。

(4)会長選挙

恩田義徳選挙管理委員長より郵便投票（第一次投票）の結果報告が行われた：総投票数91、有効投票数87。三位までの上位得票者が五十音順に示された（同票者があったため四名）：桑野隆、中村唯史、沼野充義、三谷恵子。引き続き第二次投票を行ったが、投票者の過半数を得た候補者がおらず、上位二名（中村唯史、三谷恵子）で決選投票を行った。三谷氏が多数得票者となり、会長に選出された。三谷氏は会長職受諾の挨拶を行った。

(5)事務局報告

・会員異動（2016年11月～2017年10月）

ご逝去2名 生森将人氏（関西）、柿沼伸明氏（関西）

入会者 正会員5名・賛助会員4社（それぞれ五十音順・敬称略）

青山忠申（関西／アクセント論、歴史言語学） 推薦者：中村唯史、岡本崇男

東出朋（西日本／日本語学、語用論、日本語教育、PKII） 推薦者：西野常夫、佐藤正則

エヴゲーニー・ブリノフ（関東／哲学） 推薦者：野中進、中村唯史

堀江広行（関東／ロシア近代宗教思想） 推薦者：野中進、渡辺圭

山本明尚（関東／音楽学） 推薦者：一柳富美子、三浦領哉

現代思潮新社

国際親善交流センター（JIC）

成文社

ロシア旅行社

退会者 3 名 マルガリータ・カザケーヴィチ（関西）、高木美奈子（関東）、矢沢英一（関東）

(6)各種委員会報告

各委員長により今年度の活動の報告が行われた。

(7) その他の学会活動報告

以下の学会活動について報告が行われた。

- ・シンポジウム「ロシアの文化 その魅力と鑑賞法」（2017年7月8日、東京大学）[報告者：三谷恵子]
- ・ロシア文学大事典（仮）編纂ワーキンググループについて [報告者：中村唯史]

(8) 2016/2017 年度決算および会計監査報告

事務局より 2016/2017 年度決算案について資料に基づいて説明があった。監事（諫早勇一、寒河江光徳）によって確認済みであることが諫早氏から報告され、拍手で承認された。

(9)2017/2018 年度予算案について

事務局より 2017/2018 年度の予算案が資料に基づいて説明があり、拍手で承認された。その際、会員の高齢化等による会費収入の長期的減少傾向が認められ、この点に関する対策（会費督促、収入の多角化など）を検討する必要がある点が強調された。

(10)2018 年度第 68 回大会について

望月会長より 2018 年度大会会場校として名古屋外国語大学が提案され、拍手で承認された。担当校の諫早勇一氏より挨拶があった。

(11)新役員および新委員について

事務局より資料に沿って新役員、新委員が提案され、拍手で承認された。

(12)閉会の辞

議員団が解任され、望月会長の退任挨拶の後、中村唯史副会長が閉会の辞を述べ、閉会となった。

3. 10・12 月理事会関連事項

10 月理事会は 10 月 14 日（土）に上智大学にて、12 月理事会は 12 月 17 日（日）に東京大学本郷キャンパスで開催されました。主な報告事項および審議事項は以下の通りです。

10 月理事会（前節の総会報告を参照）

■会員異動

■2016/2017 年度決算について

■2017/2018 年度予算案について

■2018 年度第 68 回大会について

■新役員、新委員の選出について

12 月理事会

■会員異動（入会 2 名、退会 2 名）次節参照

■2017 年度第 67 回大会の総括と会計報告

中村唯史大会組織委員長より第 67 回大会全体について総括があった。また、井上幸義大会実行委員長より第 67

回大会の実施・運営について報告があり、実行委員会経費の決算が承認された。

■2018年度第68回大会（名古屋外国語大学）について

諫早勇一大会実行委員長より、第68回大会の準備状況について報告があった。

■各種委員会報告

○編集委員会 大平陽一委員長より、編集委員に田中大氏（関西支部）を加えることが報告された。また、従来は投稿申請があった段階で査読者の選定・依頼を行っていたが、投稿申請があっても投稿原稿が出ないケースが少なくないため、実際に投稿原稿が出てから査読者への依頼を行うことにした旨、報告があった。

○国際交流委員会 坂庭淳史委員より、第67回大会での国際参加枠の実施に関する諸問題について報告された。また来年度は、申請者にCV提出を課すなどの新しい対応を取る予定であることが報告された。国際参加枠のあり方について種々意見が交わされた。

○広報委員会 古賀義顕委員長より、新委員会で活動内容と問題点（HPアップのスピード、国際化、委員の業務分担）について議論が行われたことが報告された。HP業務の外注についても引き続き検討中である。他にも、HP独自のコンテンツ（会員エッセイなど）や学会FBなどについても検討されていることが報告された。

○ロシア語教育委員会 熊野谷葉子委員長より、新委員会で活動方針について議論を行ったことが報告された。具体的には、関連情報の会員への発信、会員によるロシア語教育に関する催しへのバックアップなどである。

○日本ロシア文学会大賞選考委員会 諫早勇一委員長より、推薦の申請状況について報告があった。12月17日時点では推薦はない。ぜひ推薦を行うよう理事会メンバーへのお願いがあった。

○2018大会組織委員会 貝澤哉委員長より、新委員のメンバー構成について報告があった。

■「会費減免に関する申し合わせ」について

三谷恵子会長より、「会費減免に関する申し合わせ」について「1. 日本ロシア文学会の他に、1) JSSEES、2) ロシア・東欧学会、3) ロシア史研究会の3団体のうちのいずれかに加入している大学院生（研究生等も含め、何らかの形で授業料、研究料等を納付している者）には、普通会費を毎年1,000円減免する」という項目があるが、JSSEESがロシア東欧学会と合同したこと、また日本スラヴ学研究会もJCREES構成学会であることに鑑み、上掲部分を「1) ロシア・東欧学会、2) ロシア史研究会、3) 日本スラヴ学研究会」と改正すべきであることが報告された。規定改正になるので、来年の総会で改正の予定。

■カザン連邦大学からの申し出について

野中進事務局長よりカザン連邦大学からの提案内容について報告があった。第68回大会でトルストイに関するパネルを開催したいという内容。執行部としては、前向きに対応すること、今後の交渉を国際交流委員会に任せいという提案があった。国際交流委員会が、大会組織委員会・大会実行委員会と連携しつつ、カザン連邦大学と交渉を進めることとなった。

4. 会員異動（敬称略：2017年1-12月）

ご逝去：柿沼伸明（関西） 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

入会〔氏名（支部：専攻分野／推薦者）〕：青山忠申（関西：アクセント論、歴史言語学／中村唯史、岡本崇男）、石井優貴（関東：20世紀ロシア音楽文化／西中村浩、安岡治子）、小川佐和子（関西：映画学／中村唯史、大平陽一）、東出朋（西日本：日本語学、語用論、日本語教育、P K I I／西野常夫、佐藤正則）、エヴゲーニー・ブリノフ（関東：哲学／野中進、中村唯史）、山本明尚（関東：音楽学／一柳富美子、三浦領哉）

退会：マルガリータ・カザケーヴィチ（関西）、松本賢一（関西）、矢沢英一（関東）、柳沢民雄（中部）

5. 新役員・委員

会長	三谷恵子（2017年全国大会～2021年全国大会）
副会長	貝澤哉、中村唯史（2017年全国大会～2019年全国大会）
事務局	野中進（2016年全国大会～2018年全国大会）

理事（2017年全国大会～2019年全国大会）

北海道支部	寺田吉孝（支部長）、越野剛〔事務局長：大西郁夫〕
東北支部	長谷川章（支部長）〔事務局長：川辺博〕
関東支部	伊東一郎（支部長）、秋山真一、大石雅彦、熊野谷葉子、坂庭淳史、佐藤千登勢、楯岡求美、堤正典、沼野恭子、乗松亨平（事務局長）、番場俊、前田和泉、三浦清美、八木君人
中部支部	杉本一直（支部長・事務局長）、中澤敦夫
関西支部	中村唯史（支部長）、大平陽一、藤原潤子、ヨコタ村上孝之〔事務局長：服部文昭〕
西日本支部	西野常夫（支部長・事務局長）

顧問	川端香男里、佐藤純一、米川哲夫
監事	木村崇、鳥山祐介
JCREES 幹事	三谷恵子

各種委員会（2017年全国大会～2019年全国大会）

編集委員会	大平陽一（委員長）、朝妻恵理子、北見諭、鴻野わか菜、佐々木精治、佐藤正則、下里俊行、高橋健一郎、田中大、平松潤奈、堀口大樹、丸山由紀子
学会賞選考委員会	井上幸義（委員長）、郡伸哉、沼野恭子、柳町裕子、ヨコタ村上孝之
国際交流委員会	楯岡求美（委員長）、ヴァレーリイ・グレチコ、坂庭淳史、中野幸男、前田和泉
広報委員会	古賀義顕（委員長）、梅津紀雄、寒河江光徳、中村唯史、本田晃子、八木君人
ロシア語教育委員会	熊野谷葉子（委員長）、秋山真一、金子百合子、寺田吉孝、宮崎衣澄
倫理委員会	齋藤陽一（委員長）、黒岩幸子、佐藤千登勢、西中村浩、イリーナ・メーリニコワ
大賞選考委員会	諫早勇一（委員長）、井上幸義、大平陽一、貝澤哉、熊野谷葉子、古賀義顕、楯岡求美、中村唯史、三谷恵子
大会組織委員会	貝澤哉（委員長）、諫早勇一、井上幸義、楯岡求美、堤正典

大会実行委員
会

諫早勇一（委員長）、高田映介、楯岡求美、野中進、山路明日太

6. その他

○日本ロシア文学会大賞受賞記念講演 第4回日本ロシア文学会大賞に桑野隆氏が選出され、2017年10月14日、上智大学にて日本ロシア文学会大賞記念講演「20世紀ロシアの人文知の魅力」が行われました。この受賞記念講演は『ロシア語ロシア文学研究』第50号に掲載予定です。また桑野氏の授賞理由、受賞の言葉、業績と略歴は学会ホームページに掲載されています。

7. 事務局からのアナウンス

○学会はみなさまの会費によって支えられています。2017/2018年度分（およびそれ以前）の学会費を納入されていない方は、納入くださいますようお願い申し上げます。なお、振込用紙がお手元にない場合、郵便局に備え付けの振替用紙をお使いください（加入者：日本ロシア文学会、口座番号：00100-7-6507）。

○2018年度の大会は10月27日（土）、28日（日）に名古屋外国語大学で開催されます。

○学会ホームページでは、学会内外で行われるロシア語・ロシア文化全般に関する催しについての案内を積極的に掲載しておりますので、適時閲覧して頂ければ幸いです（<http://yaar.jpn.org/>）。

○現在、事務局から会員への連絡は、一部を除き一斉メールで行っております。まだ連絡用のメールアドレスを事務局にお届け頂いていない会員におかれましては、ご自身のメールアドレスと氏名を事務局にご送信下さい（yaar@yaar.jpn.org）。また、お知合いの会員でメールによる学会連絡のない方がいらっしゃいましたら、事務局あてにご一報くださるよう、お勧めください。

○『ロシア語ロシア文学研究』49号（2017年）がお手元に届いていない会員の方は、現在のご住所（郵送先）を事務局にお知らせください。また、お知合いの会員でそのような方がいらっしゃいましたら、事務局あてにご一報くださるよう、お勧めください。

日本ロシア文学会会報 第47号（2018年2月28日発行）

発行人 三谷恵子 編集人 日本ロシア文学会事務局

〒338-0825 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255

埼玉大学人文社会科学研究所 野中進研究室内

Fax: 048-858-3685 E-mail: yaar@yaar.jpn.org